

普通科にスポーツ 科学コース新設

光星高、来春から
国際教養系も追加

八戸学院光星高（小野崎龍一校長）は11日、同校で記者会見を開き、2020年度の入学募集から普通科にスポーツ科学コースを新設すると発表した。2年生から学習内容を選択できる同科の進学コースには、国際教養系を新たに設ける。

普通科と保育福祉科による現行の2学科・5コースから、2学科・6コースに改編となる。普通科の募集人員は270人で、これまでと変更はない。

スポーツ科学コースは競技力向上を目指し、スポーツ理論などを学ぶ他、障害者スポーツやスポーツビジネスなども学習する。八戸学院大と連携してトップアスリート育成も後押しし、20年度に入学する硬式野球部員はこれまでの総合学習

コースではなく、新しいコースで学ぶ。

進学コースの国際教養系は国際感覚を養い、英会話力を高めることを重視。フイリピンの語学学校「CNEE」などへの海外語学研修を必修とする方針だという。

会見で小野崎校長は「社会が多様化、国際化する中で、子どもたちの進路目標も多様化している。他校にはない特色ある教育環境で学んでほしい」と述べた。

（稲村安莉）



会見で新設コースについて説明する小野崎龍一校長＝11日、八戸学院光星高